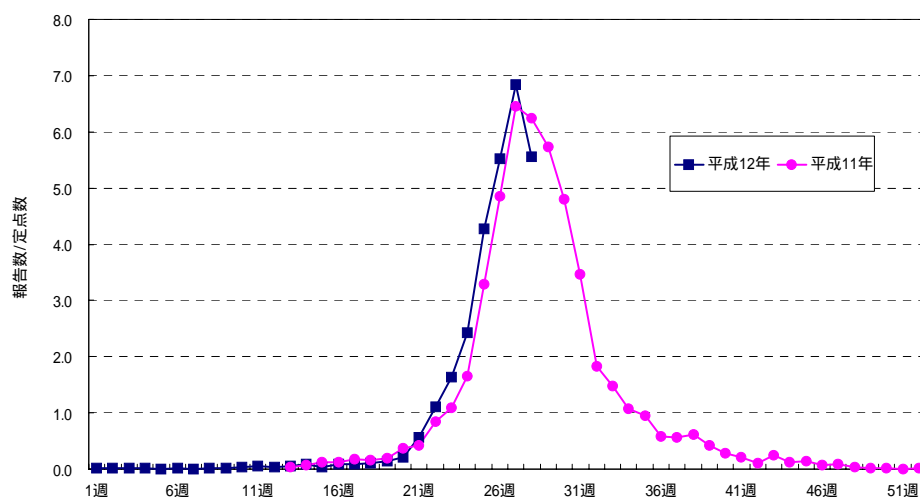


愛知県感染症情報

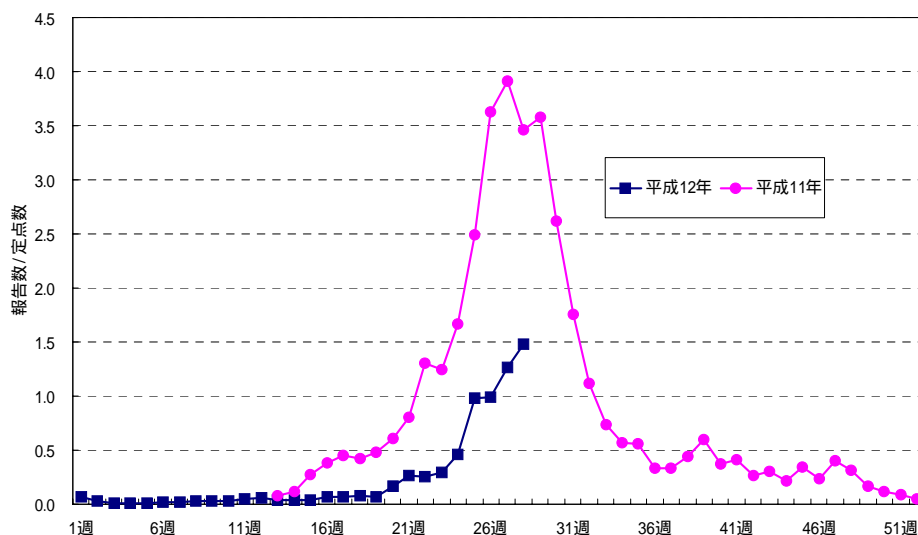
平成 12 年第 28 週（7 月第 2 週）

（コメント）

ヘルパンギーナはピークをむかえていますので注意してください。
手足口病は流行中です。



ヘルパンギーナ(名古屋市を含む。平成11年は、13週(4月1日～)から)



手足口病(名古屋市を含む。平成11年は、13週(4月1日～)から)

（先生方からのコメント）

● 尾張西部地区

- ・ 先週と今週、各一例 無菌性髄膜炎がありました。
（一宮市 後藤小児科）
- ・ 頭痛を伴う熱性疾患が多い。うち1名が無菌性髄膜炎 4歳
（一宮市 平谷小児科）

- ・ ヘルパンギーナの大流行が未だ続いています。
突発性発疹も小流行が見られます。
マイコプラズマ肺炎 1 名
(尾西市 城後小児科)
- ・ 水痘 3 歳男 ワクチン歴あり
ムンプスと水痘の同時感染例あり 2 歳女
(一宮市 あさのこどもクリニック)
- ・ 咽頭発赤が軽度で高熱が 3~4 日続く患児が増加しています。
ヘルパンギーナは減少しています。
(江南市 みやぐちこどもクリニック)
- ・ 手足口病 頭痛強い例あり
(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)
- 尾張東部地区
 - ・ ヘルパンギーナが流行中です。
水痘、突発性発疹継続。
手足口病、流行性耳下腺炎散発。
(尾張旭市 佐伯小児科医院)
 - ・ 帯状疱疹 6 歳男
(小牧市 志水こどもクリニック)
 - ・ 無菌性髄膜炎数名、ヘルパンギーナ多し
(小牧市 小牧市民病院)
 - ・ 今週は高熱の出る気管支炎が目立ちました。1 歳 6 ヶ月の男児 1 名
は急性肺炎でした。
(春日井市 かちがわ北病院)
- 西三河地区
 - ・ 病原性大腸菌 O-26 2 歳男、O-8 1 歳男
(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)
 - ・ 麻疹 1 例 6 ヶ月女
(碧南市 永井小児クリニック)
 - ・ 手足口病が増加する傾向です。
(西尾市 やすい小児科)
 - ・ ヘルペス口内炎 3 歳男
(西尾市 山岸クリニック)
- 東三河地区
 - ・ ヘルパンギーナが流行しています。
(豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科)

- ・ 無菌性骨髄膜炎 2 例（1 例は手足口病）
（豊橋市 みやざわ小児科）
- ・ 9 歳女 5/29、7/14 と手足口病、今シーズン 2 回目
（蒲郡市 医療法人鈴木小児科医院）
- ・ 数日間続く熱発児が多い。肺炎併発する児あり（3 例）。
（田原町 かわせ小児科）

（1～3 類感染症の発生状況）

腸管出血性大腸菌感染症患者 3 名

- ・ 豊田市保健所から報告の 18 歳女 7/2 発病、7/6 初診、7/10 診定。
菌型は、O-157 VT1・VT2(+).
- ・ 半田保健所から報告の 7 歳男 7/5 発病、7/6 初診、7/12 診定。菌型
は、O-157 VT1・VT2(+).
- ・ 春日井保健所から報告の 13 歳男 7/7 発病、7/8 初診、7/13 診定。
菌型は、O-157 VT1・VT2(+).

（全数把握の 4 類感染症の発生状況）

デング熱 1 名。

第 26 週（6 月 26 日～7 月 2 日）の 4 類感染症の全国状況

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が依然例年の同時期よりかなり多く、とくに鳥取県で定点当たり報告数 8.4 と多くなっている。咽頭結膜熱と水痘の定点当たり報告数は例年の同時期よりやや多くなっている。手足口病は佐賀県、鹿児島県、熊本県、福岡県など九州地方と、群馬県、奈良県、和歌山県、山形県などで定点当たり報告数が多くなっている。ヘルパンギーナも 7 月下旬のピークシーズンに向け患者報告数が増加しており、千葉県、鳥取県、群馬県、宮城県、埼玉県などで定点当たり報告数が多くなっている。麻疹の患者報告数は依然大阪で多い。

（Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報）